

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/31号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 80ドル台後半まで値上がり

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台後半まで値上がりする展開になった。特段の新規材料は見当たらなかったが、需給ひっ迫リスクに対する警戒感が蒸し返され、押し目買い優勢の展開になった。需要環境の悪化に対する警戒感は維持されているが、供給リスクに対する警戒感も強く、一時89.79ドルまで値上がりしている。改めてエネルギー危機の発生リスクを指摘する声、ドル高一服したこと、株価の堅調地合もポジティブ。ただ、週末を前に中国で新型コロナウイルスの感染拡大が警戒されると、調整売りに上値を抑えられた。

需給ひっ迫化に対する警戒感が蒸し返されていることが、原油相場を下支えした。何か目新しい大きな動きがみられた訳ではないが、需要リスクの消化が一巡していることで、改めて供給サイドのリスクが重視されている。米政府の戦略石油備蓄 (SPR) 放出計画発表でも値を崩すことなく、マクロ需給要因に基づく買い圧力が若干優勢になった。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (10月21日時点) は、原油が前週比259万バレル増、ガソリンが148万バレル減、石油精製品が17万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給ひっ迫化で90ドルも視野に、中国コロナ感染状況には要注意

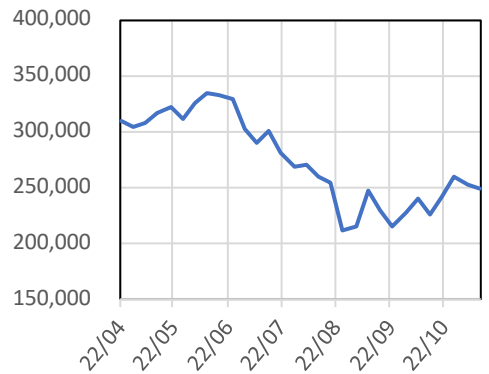
需給ひっ迫リスクに対する警戒感が蒸し返される中、押し目買い優勢の展開になろう。11月は石油輸出国機構（OPEC）プラスの大規模減産も開始される。順調に減産対応が進めば、少なくとも10月との比較では需給が引き締まり易くなる。90ドル台を回復すると、底打ち後の反発フェーズに移行したとの評価が一段と強まろう。92～93ドル水準が上値抵抗になる。

OPECプラスは、11月の生産枠を10月比で日量200万バレル引き下げている。あくまでも生産枠ベースだが、実際の産油量についても日量100万バレル程度は一気に削減される可能性が高い状況にある。サウジアラビアやUAEなど主要産油国が合意に従って減産対応を進めれば、原油相場の値上がりリスクが高まろう。また、11月入り後は冬型の天候に対する警戒感も強まり易く、気温低下予報や石油精製品在庫の取り崩しがあると、ヒーティングオイル主導の上昇リスクが高まろう。

一方、下落リスクとして注意が必要なことは、中国で改めて新型コロナウイルスの新規感染者数が増えていることだ。共産党大会ではゼロコロナ政策の堅持が確認されており、行動規制の動きが活発化すると、需要不安が上値を圧迫する可能性はある。ただ、従来のように都市活動を全面的に停止させるようなロックダウン（都市封鎖）が行われるリスクは低下しており、一時的な下振れリスクとの評価に留まろう。

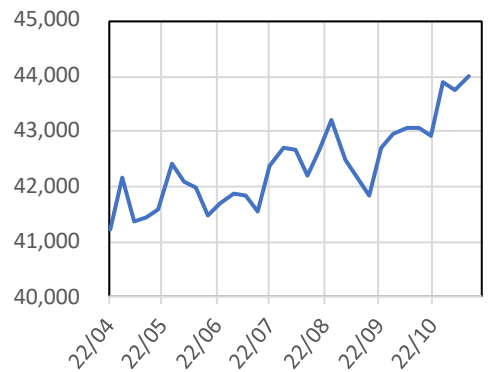
11月1～2日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.75%の追加利上げが予想されているが、12月以降の金融政策環境の評価が注目される。ここでドル高が再開されると、調整リスク型が高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



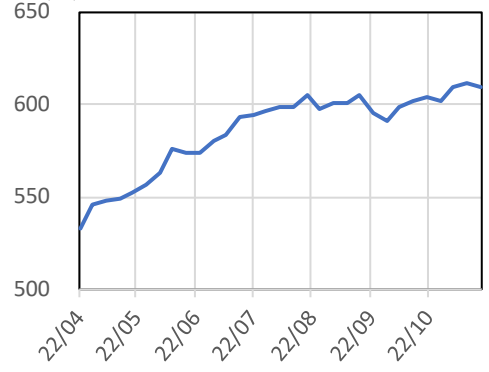
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

